

## VII 観光動態調査ルート分析

### 1. はじめに

#### ● 報告書について

この報告書は平成 26 年度に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した（P133：2. 立寄り市町村割合）。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析した（P141：3. 周遊ルート分析）ものである。

#### ● 調査地点について

高知県内の観光地（10 地点：室戸岬、桂浜、足摺岬、高知城、龍河洞、土佐和紙工芸村、モネの庭、アンパンマンミュージアム、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場）でアンケート調査を実施している。

#### ● 発地ブロックについて

- 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北	：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟	：新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海	：山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外	：すべての海外旅行者

## 2. 立寄市町村割合

### ● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した（する予定の）観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
  - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
  - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ（%表記）は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
  - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

## ● 立寄市町村の傾向、および特徴

平成 26 年度観光動態調査の立寄市町村割合について、その傾向や特徴を記載する。

立寄市町村の延べ件数は、前年度の 10,388 件から今年度は 9,299 件と減少している。

県内 16 地域の立寄数をみると、最も多かったのは「高知」の 3,425 件（36.8%）で、高知県観光の中心になっている。次いで、「南国・香美」の 1,248 件（13.4%）、「東洋・室戸」の 874 件（9.4%）、「黒潮・四万十市」の 848 件（9.1%）、「土佐清水・大月」の 711 件（7.6%）と続いている。この上位 5 地域で全体の 76.3%と大半を占めている。

発地ブロック別（P135：表 2-1-2）をみると、すべてのブロックで「高知」への立寄割合が最も多くなっているが、2 番目に多い地域は“北海道・東北”、“北陸・新潟”、“近畿”、“中国”、“四国”が「南国・香美」、「関東”、“甲信・東海”、“九州・沖縄”が「黒潮・四万十市」、「海外」が「奈半利・田野等」と傾向が分かれている。

年代別（P137：表 2-2-2）をみると、10 代は「高知」、「黒潮・四万十市」への集中度が高く、20 代から 40 代は「高知」と「南国・香美」での立寄りが多くなっている。50 代と 60 代以上は「高知」への集中度が低くなる一方で、「東洋・室戸」、「奈半利・田野等」の県東部で全体平均を上回っている。

旅行形態別（P138：表 2-3-2）の傾向として、家族旅行は「高知」以外では「南国・香美」での立寄りが多くなっている。友人・知人との旅行では「高知」、「黒潮・四万十市」で全体平均を上回っている。団体旅行は立寄市町村が限られており、主に「高知」に集中し、「南国・香美」も多くなっている。一人旅では、他の旅行形態に比べて「高知」が少なく、「東洋・室戸」、「いの」、「黒潮・四万十市」が多くなっている。

主な旅行目的別（P139：表 2-4-2）の傾向として、大半の項目で「高知」が目立って多くなっている。上位 5 項目の旅行目的をみると“名所旧跡”は「高知」、「南国・香美」を合計した割合が 7 割を超えている。“自然見物”は「高知」の割合が若干少なく、「土佐清水・大月」、「東洋・室戸」とその周辺地域が多くなっている。“食べ物”は「高知」、「須崎・中土佐」の割合が多くなっており、「須崎・中土佐」は全体平均を大きく上回っている。“帰省”は全体平均と似ており、特に目立った傾向は無かった。“なんとなく”は「高知」が全体平均より少ないのが特徴で、その一方で「東洋・室戸」の割合が多くなっている。

## 2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1-1) 発地別立寄市町村割合 (件) [ 発地ブロック別 ]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
北海道・東北 (n=41)	13	4			17		68	1			1		1	12	1	11	129	1.4	3.1
関東 (n=387)	86	38	3	17	113	4	603	29		2	44	6	14	133	6	122	1,220	13.1	3.2
北陸・新潟 (n=20)	6	4	1	1	9		20	2			1	1				4	53	0.6	2.7
甲信・東海 (n=168)	33	16	2	8	44		235	4			17	4	13	58	3	54	491	5.3	2.9
近畿 (n=766)	173	50	10	22	261	5	917	72		3	95	10	34	232	10	198	2,092	22.5	2.7
中国 (n=428)	79	43	5	17	165		507	41		2	64	10	19	91	6	66	1,115	12.0	2.6
四国 (n=2,079)	462	434	38	108	617	9	916	352		17	325	11	65	280	25	225	3,884	41.8	1.9
九州・沖縄 (n=105)	22	9	1	3	22	1	148	11			6	3	3	38	1	31	299	3.2	2.8
海外 (n=6)		3		1			11	1									16	0.2	2.7
全体 (n=4,000)	874	601	60	177	1,248	19	3,425	513		24	553	45	149	848	52	711	9,299	100.0	2.3

(表 2-1-2) 発地別立寄市町村割合 (%) [ 発地ブロック別 ]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
北海道・東北 (n=41)	10.1	3.1			<b>13.2</b>		52.7	0.8			0.8		0.8	9.3	0.8	8.5			
関東 (n=387)	7.0	3.1	0.2	1.4	<b>9.3</b>	0.3	49.4	2.4		0.2	3.6	0.5	1.1	<b>10.9</b>	0.5	10.0			
北陸・新潟 (n=20)	11.3	7.5	1.9	1.9	<b>17.0</b>		37.7	3.8			1.9	1.9		7.5		7.5			
甲信・東海 (n=168)	6.7	3.3	0.4	1.6	<b>9.0</b>		47.9	0.8			3.5	0.8	2.6	<b>11.8</b>	0.6	11.0			
近畿 (n=766)	8.3	2.4	0.5	1.1	<b>12.5</b>	0.2	43.8	3.4		0.1	4.5	0.5	1.6	11.1	0.5	9.5			
中国 (n=428)	7.1	3.9	0.4	1.5	<b>14.8</b>		45.5	3.7		0.2	5.7	0.9	1.7	8.2	0.5	5.9			
四国 (n=2,079)	11.9	11.2	1.0	2.8	<b>15.9</b>	0.2	23.6	9.1		0.4	8.4	0.3	1.7	7.2	0.6	5.8			
九州・沖縄 (n=105)	7.4	3.0	0.3	1.0	<b>7.4</b>	0.3	49.5	3.7			2.0	1.0	1.0	<b>12.7</b>	0.3	10.4			
海外 (n=6)		<b>18.8</b>		6.3			68.8	6.3											
全体 (n=4,000)	9.4	6.5	0.6	1.9	<b>13.4</b>	0.2	36.8	5.5		0.3	5.9	0.5	1.6	9.1	0.6	7.6			

※ 白抜き は都道府県・ブロックで1位、太字 は同2位

(表 2-1-3) 発地別立寄市町村割合 (%) [ 四国 ]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=211)	19.1	7.4	0.6	1.6	17.3	0.2	38.9	2.1			3.1	0.2	1.4	2.3	0.6	5.1
香川県 (n=332)	7.9	8.3	0.5	4.7	19.3	0.4	31.2	5.3			7.0	0.3	2.1	5.3	1.2	6.4
愛媛県 (n=419)	5.2	6.3	0.1	3.5	15.1	0.2	30.8	9.9		0.1	8.6	0.7	0.8	8.8	0.8	9.1
高知県 (n=1,117)	14.8	15.8	1.7	2.0	14.5	0.2	12.8	12.1		0.9	10.2	0.1	2.0	8.6	0.3	4.1
四国 (n=2,079)	11.9	11.2	1.0	2.8	15.9	0.2	23.6	9.1		0.4	8.4	0.3	1.7	7.2	0.6	5.8

#### ・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で 9,299 ヶ所となっている。その内訳を発地ブロック別にみると、四国が延べ 3,884 ヶ所 (41.8%) と最も多く、次いで近畿が 2,092 ヶ所 (22.5%)、関東が 1,220 ヶ所 (13.1%)、中国が 1,115 ヶ所 (12.0%) となっている。

#### ・上位を占めた立寄観光地の市町村

すべての旅行者が立寄った観光地を市町村別でみると、全体では「高知」が 3,425 件 (36.8%) と最も多く、次いで「南国・香美」が 1,248 件 (13.4%)、「東洋・室戸」が 874 件 (9.4%)、「黒潮・四万十市」が 848 件 (9.1%)、「土佐清水・大月」が 711 件 (7.6%) となっている。

#### ・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄り件数が最も多くなっている。2番目に立ち寄りが多かった市町村は、“北海道・東北”、“北陸・新潟”、“近畿”、“中国”、“四国”が「南国・香美」、「関東」“甲信・東海”“九州・沖縄”が「黒潮・四万十市」、「海外」が「奈半利・田野等」と発地ブロックにより傾向が分かれている。

なお、県内旅行者は「奈半利・田野等」、「東洋・室戸」、「南国・香美」、「高知」、「いの」の順で割合が多くなっている (P135: 表 2-1-3)。

## 2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-2-1) 年代別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=41)	7	4	0	2	9	0	34	3	0	0	5	0	0	13	1	7	85	0.9	2.1
20代 (n=621)	115	84	7	27	237	3	566	50	0	4	65	7	19	150	1	109	1,444	15.5	2.3
30代 (n=909)	145	95	8	54	382	3	777	77	0	5	117	10	43	211	7	168	2,102	22.6	2.3
40代 (n=870)	188	113	9	54	294	3	791	134	0	4	138	15	38	186	8	160	2,135	23.0	2.5
50代 (n=689)	186	139	15	21	149	5	593	93	0	5	112	5	26	133	16	128	1,626	17.5	2.4
60代以上 (n=870)	233	166	21	19	177	5	664	156	0	6	116	8	23	155	19	139	1,907	20.5	2.2
全体 (n=4,000)	874	601	60	177	1,248	19	3,425	513	0	24	553	45	149	848	52	711	9,299	100.0	2.3

(表 2-2-2) 年代別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=41)	8.2	4.7		2.4	10.6		40.0	3.5			5.9			15.3	1.2	8.2			
20代 (n=621)	8.0	5.8	0.5	1.9	16.4	0.2	39.2	3.5		0.3	4.5	0.5	1.3	10.4	0.1	7.5			
30代 (n=909)	6.9	4.5	0.4	2.6	18.2	0.1	37.0	3.7		0.2	5.6	0.5	2.0	10.0	0.3	8.0			
40代 (n=870)	8.8	5.3	0.4	2.5	13.8	0.1	37.0	6.3		0.2	6.5	0.7	1.8	8.7	0.4	7.5			
50代 (n=689)	11.4	8.5	0.9	1.3	9.2	0.3	36.5	5.7		0.3	6.9	0.3	1.6	8.2	1.0	7.9			
60代以上 (n=870)	12.2	8.7	1.1	1.0	9.3	0.3	34.8	8.2		0.3	6.1	0.4	1.2	8.1	1.0	7.3			
全体 (n=4,000)	9.4	6.5	0.6	1.9	13.4	0.2	36.8	5.5		0.3	5.9	0.5	1.6	9.1	0.6	7.6			

※ **白抜き** は年代で1位、**太字** は同2位

### ・年代別にみた立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、40代の旅行者が870組で2,135ヶ所(平均2.5ヶ所)と全体の23.0%となっている。次いで30代が909組で2,102ヶ所(平均2.3ヶ所)、60代以上が870組で1,907ヶ所(平均2.2ヶ所)、50代が689組で1,626ヶ所(平均2.4ヶ所)、20代が621組で1,444ヶ所(平均2.3ヶ所)、10代が41組で85ヶ所(平均2.1ヶ所)となっている。

### ・年代による立寄観光地の傾向

- 10代:「高知」の40.0%が年代別で最も多い割合となっている。「高知」に次いで多くなった「黒潮・四万十市」は年代別で最も多くなっている。
- 20代:「高知」の39.2%が年代別で2番目に多くなっており、次いで多くなった「南国・香美」も16.4%と全体平均を上回っている。
- 30代:「高知」に次いで多くなった「南国・香美」は、18.2%と全体平均を上回り、年代別で最も多くなっている。一方、「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」は年代別で最も少なくなっている。
- 40代:全体と良く似た傾向になっている。
- 50代・60代以上:「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」などで全体平均を上回っている。一方で、「高知」、「南国・香美」などで全体平均を下回っている。

## 2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

(表 2-3-1) 旅行形態別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,772)	547	438	49	145	984	13	2,385	357	0	16	385	22	78	545	25	452	6,441	69	2
友人・知人 (n=725)	149	119	6	19	186	1	671	61	0	6	108	12	35	193	8	162	1,736	19	2
団体 (n=46)	9	4	2	0	15	0	77	0	0	0	8	1	2	13	0	4	135	1	3
その他 (n=25)	6	5	1	0	4	0	16	2	0	0	1	1	2	5	2	4	49	1	2
一人 (n=432)	163	35	2	13	59	5	276	93	0	2	51	9	32	92	17	89	938	10	2
全体 (n=4,000)	874	601	60	177	1,248	19	3,425	513	0	24	553	45	149	848	52	711	9,299	100	2

(表 2-3-2) 旅行形態別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,772)	8.5	6.8	0.8	2.3	<b>15.3</b>	0.2	<b>37.0</b>	5.5		0.2	6.0	0.3	1.2	8.5	0.4	7.0			
友人・知人 (n=725)	8.6	6.9	0.3	1.1	10.7	0.1	<b>38.7</b>	3.5		0.3	6.2	0.7	2.0	<b>11.1</b>	0.5	9.3			
団体 (n=46)	6.7	3.0	1.5		<b>11.1</b>		<b>57.0</b>				5.9	0.7	1.5	9.6		3.0			
その他 (n=25)	<b>12.2</b>	10.2	2.0		8.2		<b>32.7</b>	4.1			2.0	2.0	4.1	10.2	4.1	8.2			
一人 (n=432)	<b>17.4</b>	3.7	0.2	1.4	6.3	0.5	<b>29.4</b>	9.9		0.2	5.4	1.0	3.4	9.8	1.8	9.5			
全体 (n=4,000)	9.4	6.5	0.6	1.9	<b>13.4</b>	0.2	<b>36.8</b>	5.5		0.3	5.9	0.5	1.6	9.1	0.6	7.6			

※ **白抜き** は旅行形態で1位、**太字** は同2位

### ・旅行形態別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、集計対象の多い“家族”が2,772組で6,441ヶ所(平均2.3ヶ所)と全体の69.3%を占めている。次いで“友人・知人”が725組で1,736ヶ所(平均2.4ヶ所)、“一人”が432人で938ヶ所(平均2.2ヶ所)、“団体”が46組で135ヶ所(平均2.9ヶ所)、“その他”が25組で49ヶ所(平均2.0ヶ所)となっている。

### ・旅行形態による立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多い割合を占めている。特に“団体”が57.0%と多くなっている。2番目に多くなった市町村は、“家族”と“団体”が「南国・香美」、「一人」と“その他”が「東洋・室戸」、「友人・知人」が「黒潮・四万十市」となっている。

- 家族：集計対象の大半を占めているため、全体平均に近くなっており、「南国・香美」も多くなっている。
- 友人・知人：「高知」に次いで多い「黒潮・四万十市」で全体平均を上回っており、一方で「南国・香美」などが少なくなっている。
- 団体：「高知」が旅行形態別で最も多く、「南国・香美」なども多くなっている。
- その他：「高知」に次いで多い「東洋・室戸」が旅行形態別で最も多くなっている。一方、「南国・香美」で全体平均を下回っている。
- 一人：「東洋・室戸」、「いの」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などで多くなっている。一方、「南国・香美」、「高知」、「須崎・中土佐」などで全体平均を下回っている。

## 2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

(表 2-4-1) 旅行目的別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=687)	220	201	18	32	157	4	504	65		9	29	12	12	202	1	227	1,693	18.2	2.5
休養 (n=172)	43	43	5	7	37	1	83	30			54	1	8	21		18	351	3.8	2.0
祭り (n=57)			1	1	13		29	19		3	8	1	3	17		10	105	1.1	1.8
アウトドア (n=112)	30	9		3	19	2	33	28			18	6	7	42	1	31	229	2.5	2.0
スポーツ (n=16)	8	3					11	2			2			6		1	33	0.4	2.1
食べ物 (n=618)	93	47	3	18	145	3	721	59		2	232	7	21	119		81	1,551	16.7	2.5
神仏霊場 (n=127)	44	7		1	37		61	2		3	2	37	20	47	71		332	3.6	2.6
買い物 (n=186)	61	20	5		6		85	51		39			7	69	1	1	345	3.7	1.9
名所旧跡 (n=1,161)	162	159	14	83	646	2	1,463	42		2	35	6	20	172		141	2,947	31.7	2.5
なんとなく (n=398)	149	64	10	15	69	3	128	125		5	38	7	11	65		56	745	8.0	1.9
観光・その他 (n=27)	7	6	4		1		23	7			5	1	1	4		3	62	0.7	2.3
帰省・仕事 (n=412)	56	38		17	115	4	264	72		3	89	2	20	106	2	70	858	9.2	2.1
その他 (n=27)	1	4			3		20	11			1		2	5		1	48	0.5	1.8
全体 (n=4,000)	874	601	60	177	1,248	19	3,425	513		24	553	45	149	848	52	711	9,299	100.0	2.3

(表 2-4-2) 旅行目的別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=687)	13.0	11.9	1.1	1.9	9.3	0.2	<b>29.8</b>	3.8		0.5	1.7	0.7	0.7	11.9	0.1	<b>13.4</b>			
休養 (n=172)	12.3	12.3	1.4	2.0	10.5	0.3	<b>23.7</b>	8.6			<b>15.4</b>	0.3	2.3	6.0					5.1
祭り (n=57)			1.0	1.0	12.4		<b>27.6</b>	<b>18.1</b>		2.9	7.6	1.0	2.9	16.2					9.5
アウトドア (n=112)	13.1	3.9		1.3	8.3	0.9	<b>14.4</b>	12.2			7.9	2.6	3.1	<b>18.3</b>	0.4				13.5
スポーツ (n=16)	<b>24.2</b>	9.1					<b>33.3</b>	6.1			6.1			18.2					3.0
食べ物 (n=618)	6.0	3.0	0.2	1.2	9.4	0.2	<b>46.5</b>	3.8		0.1	<b>15.0</b>	0.5	1.4	7.7					5.2
神仏霊場 (n=127)	13.3	2.1		0.3	11.1		<b>18.4</b>	0.6			0.9	0.6	11.1	6.0	14.2	<b>21.4</b>			
買い物 (n=186)	17.7	5.8	1.5		1.7		<b>24.6</b>	14.8			11.3		2.0	<b>20.0</b>	0.3	0.3			
名所旧跡 (n=1,161)	5.5	5.4	0.5	2.8	<b>21.9</b>	0.1	<b>49.6</b>	1.4		0.1	1.2	0.2	0.7	5.8					4.8
なんとなく (n=398)	<b>20.0</b>	8.6	1.3	2.0	9.3	0.4	<b>17.2</b>	16.8		0.7	5.1	0.9	1.5	8.7					7.5
観光・その他 (n=27)	<b>11.3</b>	9.7	6.5		1.6		<b>37.1</b>	<b>11.3</b>			8.1	1.6	1.6	6.5					4.8
帰省・仕事 (n=412)	6.5	4.4		2.0	<b>13.4</b>	0.5	<b>30.8</b>	8.4		0.4	10.4	0.2	2.3	12.4	0.2	8.2			
その他 (n=27)	2.1	8.3			6.3		<b>41.7</b>	<b>22.9</b>			2.1		4.2	10.4		2.1			
全体 (n=4,000)	9.4	6.5	0.7	1.9	<b>13.4</b>	0.2	<b>36.8</b>	5.5		0.3	6.0	0.5	1.6	9.1	0.6	7.7			

※ 白抜き は旅行目的で1位、太字 は同2位

### ・旅行目的別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が1,161組で2,947ヶ所(平均2.5ヶ所)と全体の31.7%となっている。次いで“自然見物”が687組で1,693ヶ所(平均2.5ヶ所)、“食べ物”が618組で1,551ヶ所(平均2.5ヶ所)、“帰省・仕事”が412組で858ヶ所(平均2.1ヶ所)、“なんとなく”が398組で745ヶ所(平均1.9ヶ所)、“休養”が172組で351ヶ所(平均2.0ヶ所)となっている。

#### ・旅行目的による立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めたが、“なんとなく”は「東洋・室戸」、  
“神仏霊場”は「土佐清水・大月」、  
“アウトドア”は「黒潮・四万十市」が最も多くなっている。  
2番目に多くなった市町村は、“名所旧跡”と“帰省・仕事”は「南国・香美」、  
“自然見物”は「土佐清水・大月」、  
“食べ物”と“休養”は「須崎・中土佐」、  
“なんとなく”と“神仏霊場”、“アウトドア”は「高知」、  
“買い物”は「黒潮・四万十市」、  
“祭り”と“観光・その他”と“その他”は「いの」、  
“スポーツ”と“観光・その他”は「東洋・室戸」となっている。

- 名所旧跡：「高知」が49.6%と多く、「南国・香美」も21.9%と目立って多くなっている。
- 自然見物：名所旧跡と正反対の傾向で、「高知」や「南国・香美」が少なくなっている。一方、「東洋・室戸」、「奈半利・田野等」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などが全体平均を超えて多くなっている。
- 食べ物：「須崎・中土佐」が15.0%と全体平均を大きく上回っている。
- なんとなく：「高知」が17.2%と少ないのが特徴で、その一方、「東洋・室戸」、「いの」が多くなっている。
- 帰省・仕事：「いの」、「須崎・中土佐」が全体平均を上回っている一方、「高知」、「東洋・室戸」、「奈半利・田野等」が少なくなっている。
- 休養：「須崎・中土佐」が旅行目的別で最も多く、「東洋・室戸」、「奈半利・田野等」も多くなっている。
- アウトドア：「黒潮・四万十市」、「高知」、「土佐清水・大月」、「東洋・室戸」、「いの」の5地域が10%を超えている。
- 買い物：「高知」、「黒潮・四万十市」、「東洋・室戸」の3地域が20%前後を占め、その合計は62.3%となっている。
- 祭り：「高知」が27.6%と多く、「いの」、「黒潮・四万十市」が全体平均を超えて多くなっている。
- 神仏霊場：「土佐清水・大月」、「宿毛・三原」、「四万十町」は旅行目的別で最も多くなっている。一方で「香南」、「いの」、「須崎・中土佐」、は旅行目的別で最も少なくなっている。

### 3. 周遊ルート分析

- 報告内容について

この項目では、平成 26 年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者（発地ブロック別、旅行形態別）がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

- 集計方法について

- ・ 「訪問した（する予定の）観光地」を下記の周遊7エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。  
※例 「高知市」-「高知市」-「東部」の場合、「高知市」-「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊7エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村  
物部川 : 香南市、南国市、香美市  
高知市 : 高知市  
仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町  
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町  
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町  
嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

## ● 周遊ルートの傾向、および特徴

平成 26 年度の周遊ルート分析について、その傾向や特徴を記載する。

すべての県外旅行者の周遊ルート（P144：表 3-1-1-1）をみると、「高知市」エリアのみで観光を終える割合が 16.8%と最も多くなっている。また、上位 4 位は単一エリア内で観光を終えた周遊ルートが占めている。

主な発地ブロック別で傾向をみると、四国ブロック（P146：表 3-1-2-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「高知市」と「物部川」を含むルートが上位になっている。

近畿ブロック（P148：表 3-1-3-1）は「高知市」エリアのみの単一ルートが最も多く、「幡多」のみも上位になっている。広範囲に移動するルートでは、四国ブロックと同様に、「高知市」と「物部川」を含むルートが上位になっている。

中国ブロック（P150：表 3-1-4-1）は「高知市」エリアのみの単一ルートが最も多くなっており、一方で、「幡多」のみ、「東部」のみが全体平均を下回っている。

関東ブロック（P152：表 3-1-5-1）とその他ブロック（P154：表 3-1-6-1）は、「高知市」のみの単一ルートが最も多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「高知市」と「幡多」のルートが上位になっている。

県内旅行者（P156：表 3-1-7-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位を占めているのが特徴で、「東部」のみが 1 位となっている。

旅行形態別で傾向をみると、家族旅行（P158：表 3-2-1-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位 6 位を占め、「高知市」のみ、「物部川」のみ、「東部」のみ、「幡多」のみ、「高幡」のみ、「仁淀川」のみの順で多くなっており、「東部」のみと「物部川」のみの割合は全体平均を大きく上回っている。

友人・知人との旅行（P160：表 3-2-2-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位を占め、「幡多」のみ、「高知市」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの順で多くなっている。また、全体平均と比べ、「幡多」のみ、「東部」のみの割合が目立って多くなっている。

団体旅行（P162：表 3-2-3-1）は、「高知市」のみ、「幡多」のみ、「東部」のみが多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「高知市」と「物部川」、「高知市」と「幡多」を含むルートが多くなっている。

一人旅（P164：表 3-2-4-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位 6 位を占め、「東部」のみ、「幡多」のみ、「仁淀川」のみ、「高知市」のみ、「高幡」のみ、「物部川」のみの順で多くなっており、その中でも「東部」のみ、「仁淀川」のみは全体平均を大きく上回っている。エリアを越える周遊ルートの割合は、少なくなっている。

### 3-1. 発地別周遊ルート

#### 3-1-1. 県外旅行者全体

すべての県外旅行者 2,883 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-1-1)周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					485	16.8%
幡多					342	11.9%
東部					227	7.9%
物部川					214	7.4%
物部川	→	高知市			198	6.9%
高幡					132	4.6%
高知市	→	物部川			131	4.5%
幡多	→	高知市			106	3.7%
仁淀川					84	2.9%
高知市	→	幡多			83	2.9%

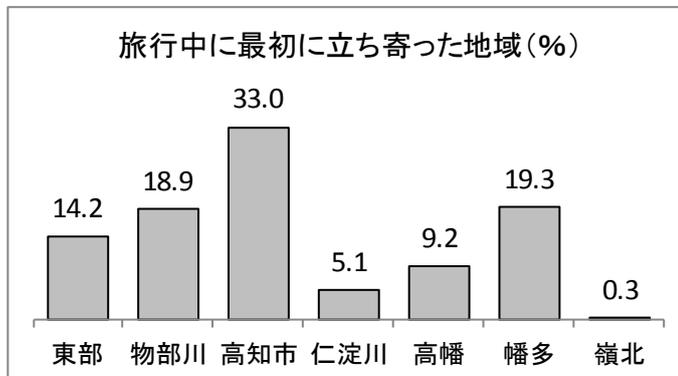
#### ・上位を占めた周遊ルート

県外旅行者 2,883 組の周遊ルートを見ると、単一エリア内で観光を終えた周遊ルートが上位 4 位までを占めている。

占める割合の多い順で周遊ルートを見ると、「高知市」を訪問し、他エリアに立寄りがない旅行者が 485 組 (16.8%) で最も多くなっている。次いで、「幡多」のみが 342 組 (11.9%)、「東部」のみが 227 組 (7.9%)、「物部川」のみが 214 組 (7.4%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が最も多く 33.0%、次いで「幡多」が 19.3%、「物部川」が 18.9%、「東部」が 14.2%、「高幡」が 9.2%、「仁淀川」が 5.1%、「嶺北」が 0.3%となっている。

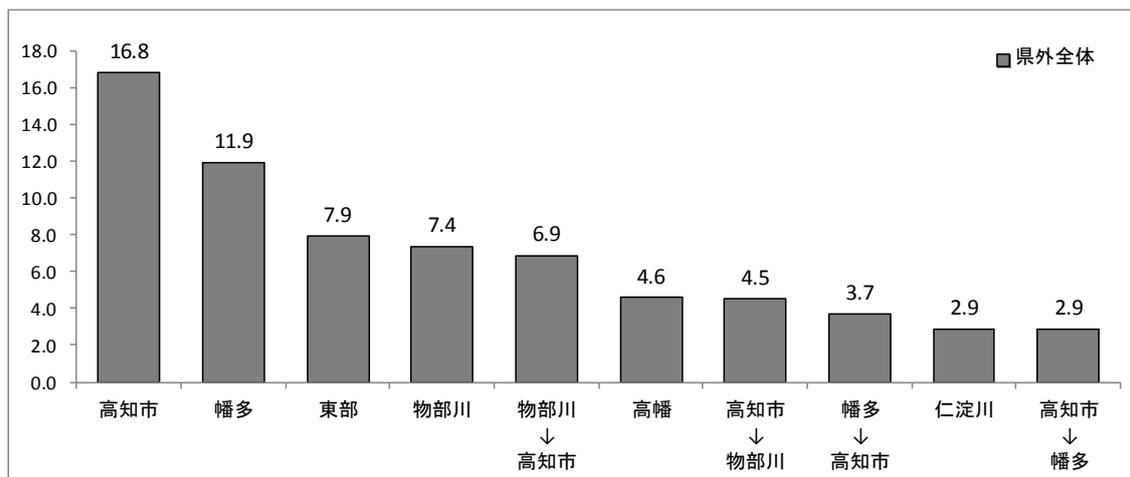


・周遊ルートの傾向

他エリアへの移動を伴う周遊ルートに限って上位をみると、「物部川」から「高知市」の 6.9%、「高知市」から「物部川」の 4.5%、「幡多」から「高知市」の 3.7%などが多くなっている (図 3-1-1-2)。

このように「高知市」を含む他エリアへの移動を伴う周遊ルートが多くなっている。

(図 3-1-1-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 上位 10 位まで ]



### 3-1-2. 四国

高知県をのぞく四国3県からの旅行者962組の周遊ルートの上位10位は以下の通りになっている。

(表 3-1-2-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					139	14.4%
幡多					138	14.3%
物部川					127	13.2%
東部					117	12.2%
物部川	→	高知市			72	7.5%
高幡					64	6.7%
仁淀川					52	5.4%
高知市	→	物部川			27	2.8%
高幡	→	幡多			19	2.0%
物部川	→	東部			19	2.0%

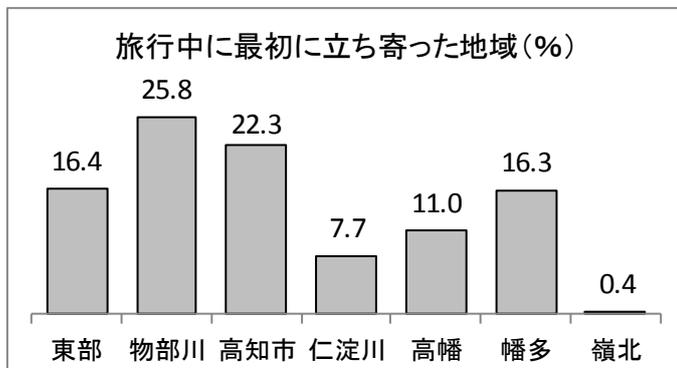
#### ・上位を占めた周遊ルート

四国3県の旅行者962組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が139組(14.4%)と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが138組(14.3%)、「物部川」のみが127組(13.2%)、「東部」のみが117組(12.2%)と続いている。このように、上位を単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位をみると、「物部川」から「高知市」の72組(7.5%)、「高知市」から「物部川」の27組(2.8%)が多くなっている。

### ・周遊ルート of 玄関口

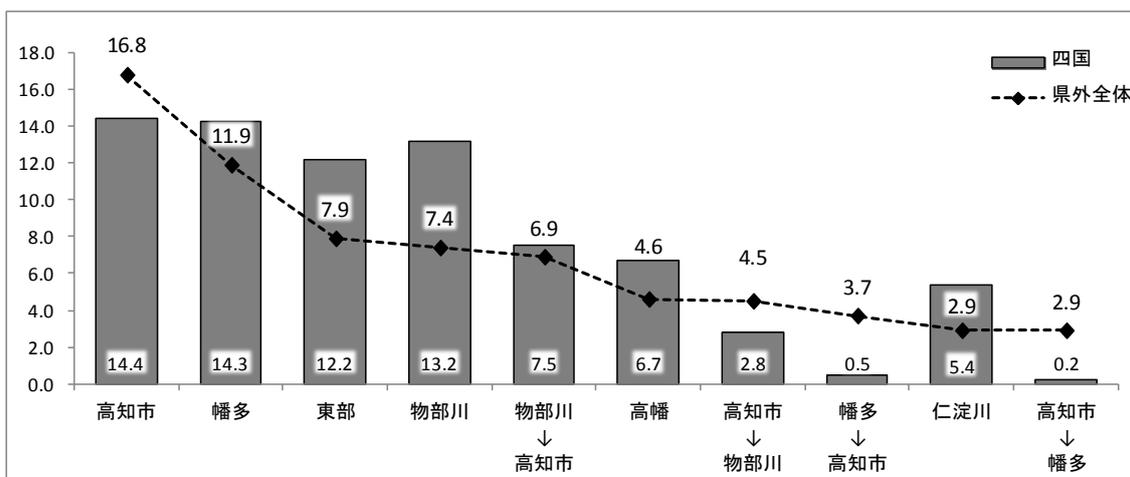
旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「物部川」が最も多く25.8%、次いで「高知市」が22.3%、「東部」が16.4%、「幡多」が16.3%、「高幡」が11.0%、「仁淀川」が7.7%、「嶺北」が0.4%となっている。



### ・周遊ルートの傾向

他のブロックや県外全体と比べ、「高知市」を含む周遊ルートの割合が少なくなっている。特に、県外全体では最も多い「高知市」のみで観光を終えた割合は2.4ポイント少ない14.4%となっている。その他のルートでは、「幡多」から「高知」、「高知」から「幡多」、「高知」から「物部川」が目立って少なくなっている（図3-1-2-2）。

(図3-1-2-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位10位との比較 ]



### 3-1-3. 近畿

近畿ブロックからの旅行者 766 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-3-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					120	15.7%
幡多					91	11.9%
東部					54	7.0%
物部川	→	高知市			51	6.7%
高知市	→	物部川			47	6.1%
幡多	→	高知市			42	5.5%
物部川					35	4.6%
高幡					34	4.4%
高知市	→	幡多			27	3.5%
高幡	→	幡多			22	2.9%

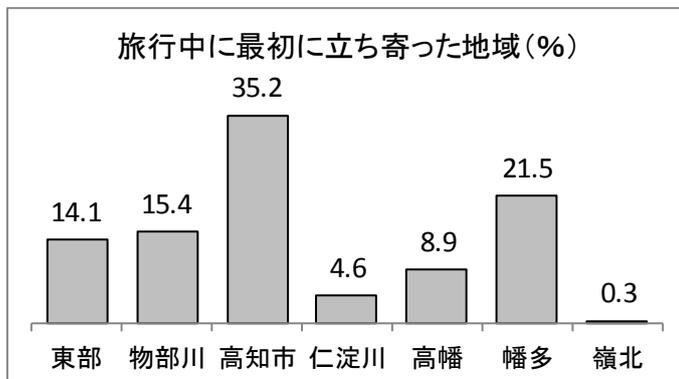
#### ・上位を占めた周遊ルート

近畿ブロックの旅行者 766 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 120 組 (15.7%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 91 組 (11.9%)、「東部」のみが 54 組 (7.0%) と続いている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位を見ると、「物部川」から「高知市」の 51 組 (6.7%)、「高知市」から「物部川」の 47 組 (6.1%)、「幡多」から「高知市」の 42 組 (5.5%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

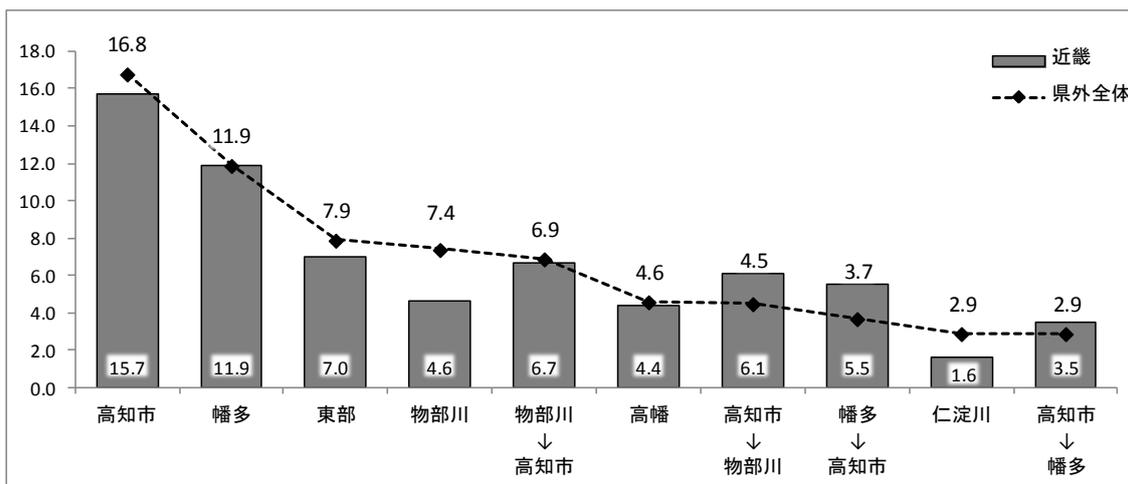
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 35.2%、次いで「幡多」が 21.5%、「物部川」が 15.4%、「東部」が 14.1%、「高幡」が 8.9%、「仁淀川」が 4.6%、「嶺北」が 0.3%となっている。



・周遊ルートの傾向

主な周遊ルートでは、「高知市」のみ、「東部」のみ、「物部川」のみ、「仁淀川」のみで観光を終えた割合が、県外全体より下回っている。その他では、「高知市」を含む、「物部川」、「幡多」へのルートが多くなっている (図 3-1-3-2)。

(図 3-1-3-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-4. 中国

中国ブロックからの旅行者 428 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-4-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

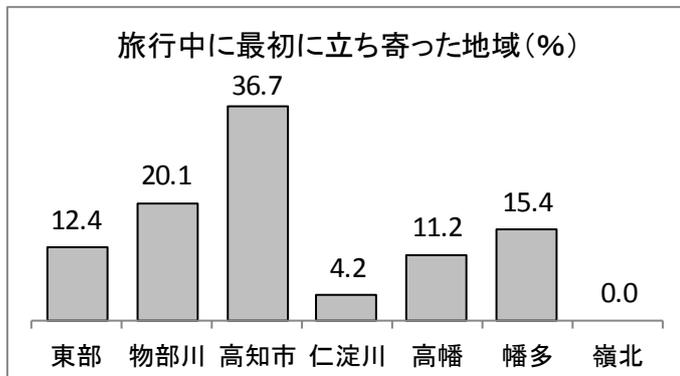
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					85	19.9%
幡多					42	9.8%
物部川	→	高知市			38	8.9%
物部川					28	6.5%
東部					26	6.1%
高知市	→	物部川			21	4.9%
高幡					17	4.0%
高幡	→	幡多			16	3.7%
物部川	→	東部			11	2.6%
東部	→	高知市			10	2.3%

#### ・上位を占めた周遊ルート

中国ブロックの旅行者 428 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 85 組 (19.9%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 42 組 (9.8%)、「物部川」から「高知市」が 38 組 (8.9%)、「物部川」のみが 28 組 (6.5%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

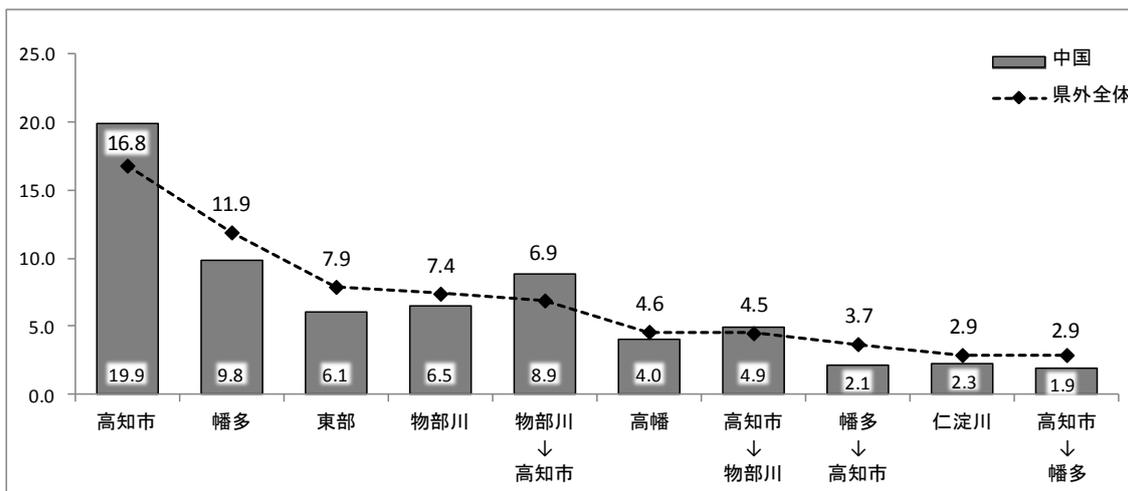
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 36.7%、次いで「物部川」が 20.1%、「幡多」が 15.4%、「東部」が 12.4%、「高幡」が 11.2%、「仁淀川」が 4.2%となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ以外の単一ルートで、観光を終えた割合が少なくなっている。その他のルートでは、「物部川」から「高知市」を含むルートが多い傾向となっている（図 3-1-4-2）。

（図 3-1-4-2）主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-5. 関東

関東ブロックからの旅行者 387 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-5-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

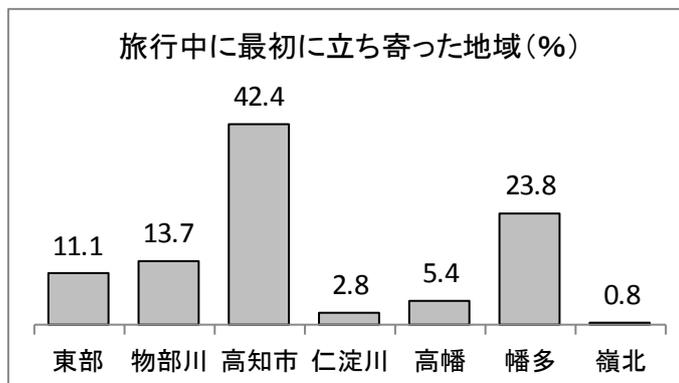
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					63	16.3%
幡多					33	8.5%
幡多	→	高知市			32	8.3%
高知市	→	幡多			27	7.0%
物部川	→	高知市			21	5.4%
高知市	→	物部川			19	4.9%
東部					18	4.7%
物部川					13	3.4%
高知市	→	東部			12	3.1%
高幡					9	2.3%

#### ・上位を占めた周遊ルート

関東ブロックの旅行者 387 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 63 組 (16.3%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 33 組 (8.5%)、「幡多」から「高知市」が 32 組 (8.3%)、「高知市」から「幡多」が 27 組 (7.0%)、「物部川」から「高知市」が 21 組 (5.4%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 42.4%、次いで「幡多」が 23.8%、「物部川」が 13.7%、「東部」が 11.1%、「高幡」が 5.4%、「仁淀川」が 2.8%、「嶺北」が 0.8%となっている。

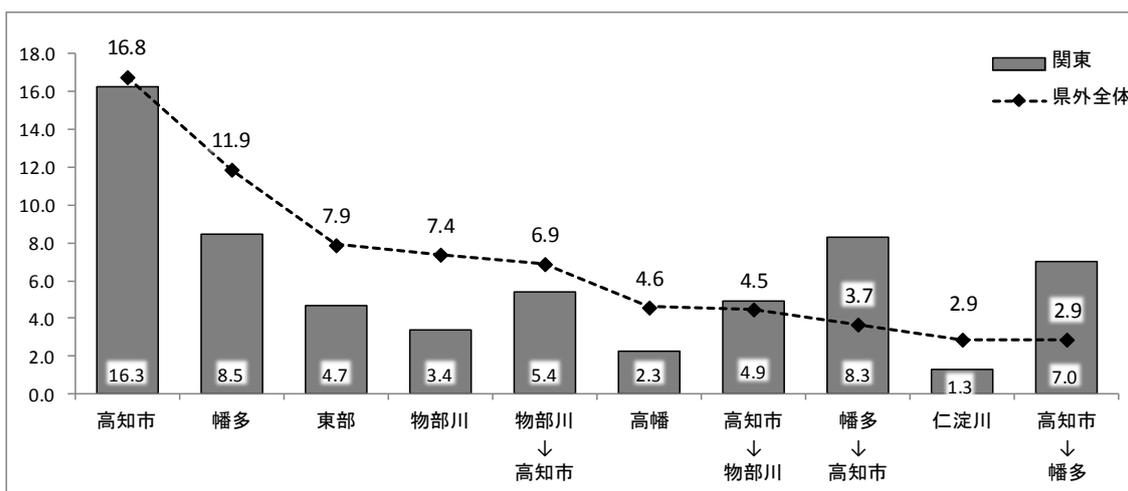


・周遊ルートの傾向

単一エリア内で観光を終えている周遊ルートの割合が、県外全体と比べ少なくなっているのが目立っている。

一方、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「幡多」から「高知市」、「高知市」から「幡多」が多くなっている。(図 3-1-5-2)。

(図 3-1-5-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



3-1-6. その他(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

その他 5 ブロックからの旅行者 340 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-6-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

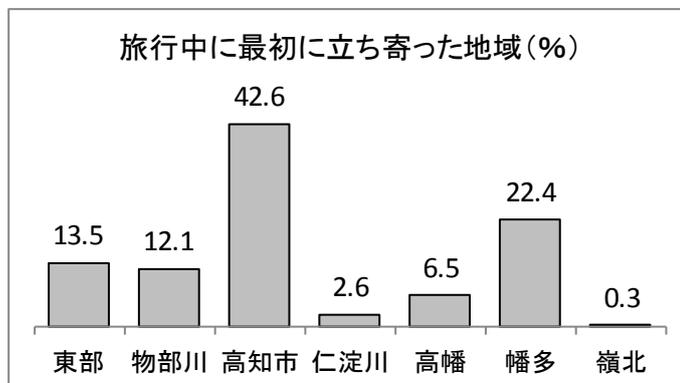
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					78	22.9%
幡多					38	11.2%
高知市	→	幡多			19	5.6%
幡多	→	高知市			18	5.3%
高知市	→	物部川			17	5.0%
物部川	→	高知市			16	4.7%
東部					12	3.5%
高知市	→	東部			12	3.5%
物部川					11	3.2%
東部	→	高知市	→	幡多	11	3.2%

・上位を占めた周遊ルート

その他 5 ブロックの旅行者 340 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 78 組 (22.9%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 38 組 (11.2%)、「高知市」から「幡多」が 19 組 (5.6%)、「幡多」から「高知市」が 18 組 (5.3%)、「高知市」から「物部川」のルートが 17 組 (5.0%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 42.6%、次いで「幡多」が 22.4%、「東部」が 13.5%、「物部川」が 12.1%、「高幡」が 6.5%、「仁淀川」が 2.6%、「嶺北」が 0.3%となっている。

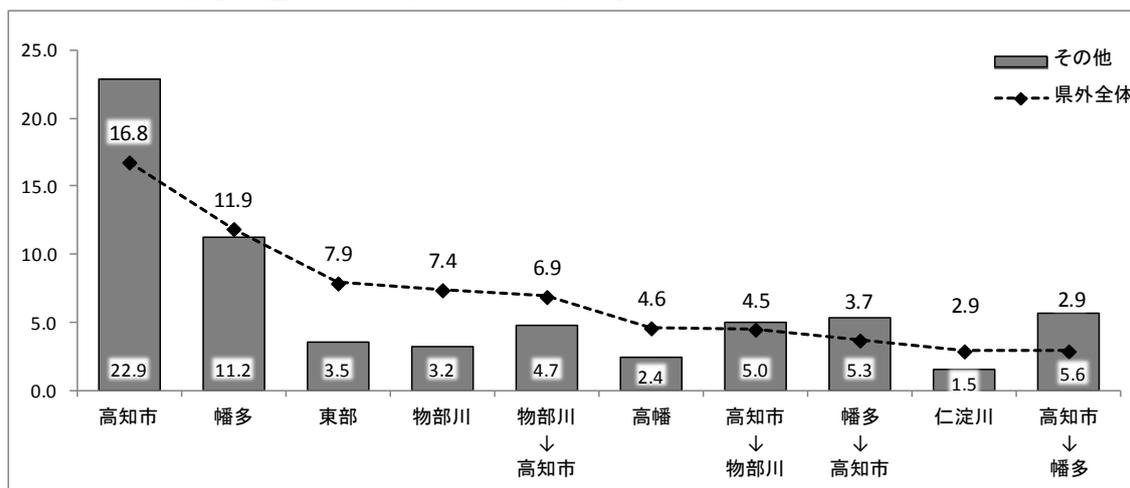


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみの割合が目立って多くなっており、一方で「東部」のみ、「物部川」のみ、「高幡」のみが少なくなっている。

その他のルートでは、「高知市」から「物部川」、「幡多」から「高知市」などが多くなっており、高知県観光の中心が「高知市」という傾向になっている (図 3-1-6-2)。

(図 3-1-6-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-7. 高知県

高知県からの旅行者 1,117 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-7-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

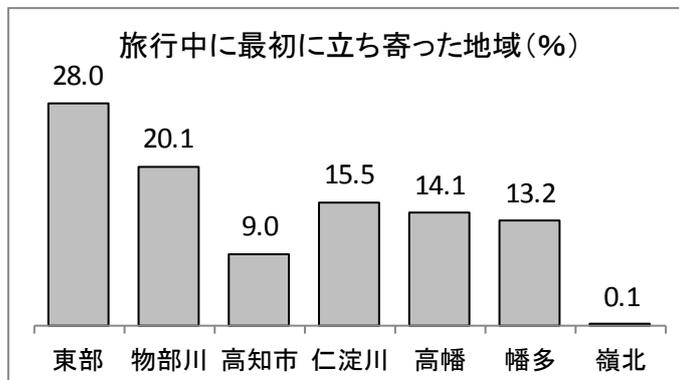
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
東部					297	26.6%
物部川					191	17.1%
仁淀川					165	14.8%
幡多					141	12.6%
高幡					136	12.2%
高知市					94	8.4%
物部川	→	高知市			19	1.7%
物部川	→	東部			14	1.3%
高幡	→	幡多			12	1.1%
東部	→	物部川			10	0.9%

#### ・上位を占めた周遊ルート

県内旅行者 1,117 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 297 組 (26.6%) と最も多くなっている。次いで「物部川」のみが 191 組 (17.1%)、「仁淀川」のみが 165 組 (14.8%)、「幡多」のみが 141 組 (12.6%)、「高幡」のみが 136 組 (12.2%)、「高知市」のみが 94 組 (8.4%) と上位 6 位まで単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占めている。

・周遊ルート of 玄関口

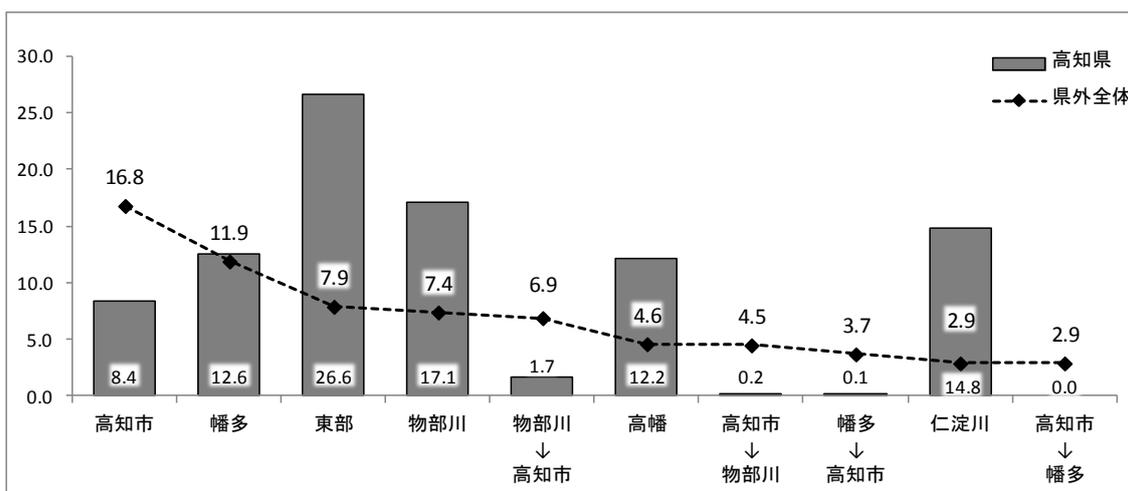
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 28.0%、次いで「物部川」が 20.1%、「仁淀川」が 15.5%、「高幡」が 14.1%、「幡多」が 13.2%、「高知」が 9.0%、「嶺北」が 0.1%となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「東部」のみ、「物部川」のみ、「仁淀川」のみ、「高幡」のみの単一エリアの割合が目立って多くなっている。一方で、「高知市」のみで観光を終える割合は少なくなっている。また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートも県外全体と比べ、少なくなっていることが目立っている（図 3-1-7-2）。

(図 3-1-7-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2. 旅行形態別周遊ルート

#### 3-2-1. 家族

家族旅行 2,772 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-1-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					415	15.0%
物部川					349	12.6%
東部					336	12.1%
幡多					298	10.8%
高幡					190	6.9%
仁淀川					168	6.1%
物部川	→	高知市			165	6.0%
高知市	→	物部川			104	3.8%
幡多	→	高知市			69	2.5%
高知市	→	幡多			51	1.8%

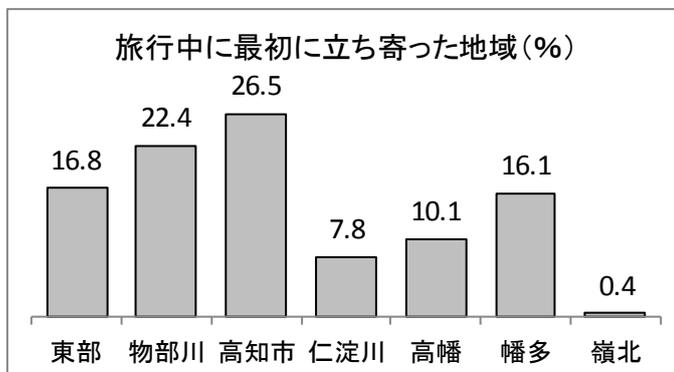
#### ・上位を占めた周遊ルート

家族旅行 2,772 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 415 組 (15.0%) と最も多くなっている。次いで「物部川」のみが 349 組 (12.6%)、「東部」のみが 336 組 (12.1%)、「幡多」のみが 298 組 (10.8%)、「高幡」のみが 190 組 (6.9%)、「仁淀川」のみが 168 組 (6.1%) と続いている。このように、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 6 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川」から「高知市」の 165 組 (6.0%)、「高知市」から「物部川」の 104 組 (3.8%)、「幡多」から「高知市」の 69 組 (2.5%)、「高知市」から「幡多」の 51 組 (1.8%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 26.5%、次いで「物部川」が 22.4%、「東部」が 16.8%、「幡多」が 16.1%、「高幡」が 10.1%、「仁淀川」が 7.8%、「嶺北」が 0.4%となっている。

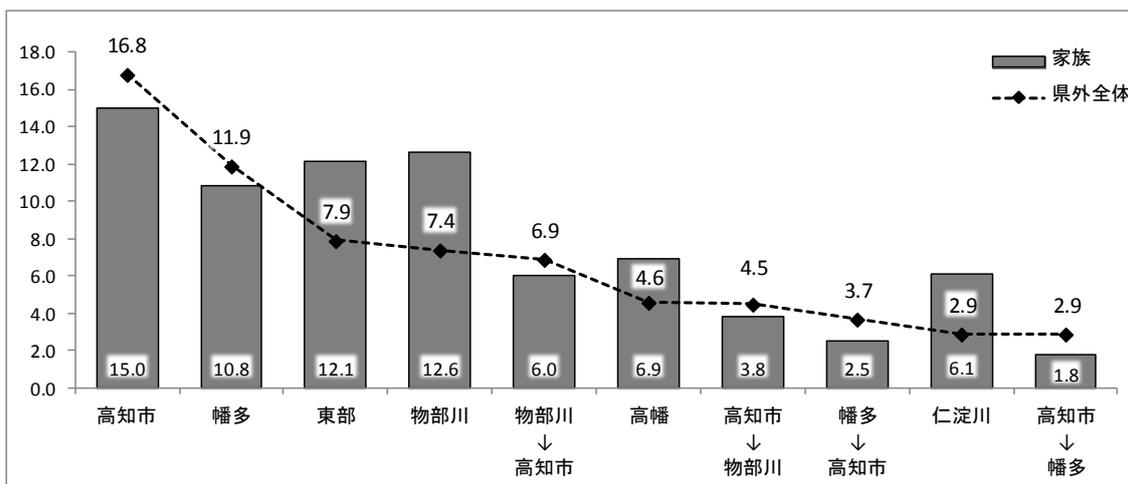


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「東部」のみ、「物部川」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっており、「高知市」のみ、「幡多」のみで観光を終える割合が少なくなっている (図 3-2-1-2)。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートは、県外全体と似た傾向となっている。単一のエリアを目的にした訪問が、家族旅行の人気を集めていることが推測される。

(図 3-2-1-2) 主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



### 3-2-2. 友人・知人

友人・知人との旅行者 725 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-2-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
幡多					112	15.4%
高知市					103	14.2%
東部					96	13.2%
高幡					46	6.3%
物部川	→	高知市			40	5.5%
物部川					38	5.2%
仁淀川					24	3.3%
高幡	→	幡多			24	3.3%
幡多	→	高知市			22	3.0%
高知市	→	幡多			21	2.9%

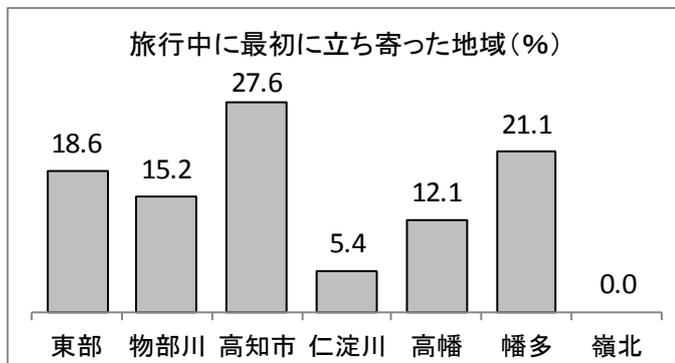
#### ・上位を占めた周遊ルート

友人・知人との旅行者 725 組の周遊ルートを見ると、「幡多」のみを訪問した旅行者が 112 組 (15.4%) と最も多くなっている。次いで「高知市」のみ 103 組 (14.2%)、「東部」のみが 96 組 (13.2%)、「高幡」のみが 46 組 (6.3%) と続いている。単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 4 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川」から「高知市」の 40 組 (5.5%)、「高幡」から「幡多」の 24 組 (3.3%)、「幡多」から「高知市」の 22 組 (3.0%)、「高知市」から「幡多」の 21 組 (2.9%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

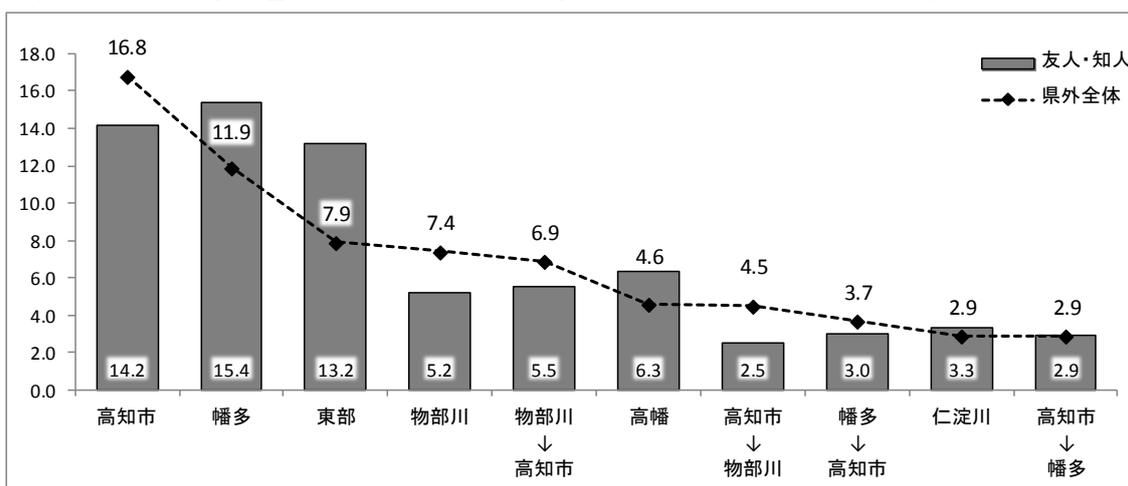
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 27.6%、次いで「幡多」が 21.1%、「東部」が 18.6%、「物部川」が 15.2%、「高幡」が 12.1%、「仁淀川」が 5.4% となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「幡多」のみ、「東部」のみの割合が目立って多く、「高幡」のみ、「仁淀川」のみも多くなっている一方で、「高知市」や「物部川」を含む観光ルートは、県外全体と比べ下回っている (図 3-2-2-2)。

(図 3-2-2-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2-3. 団体

団体旅行 46 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-3-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

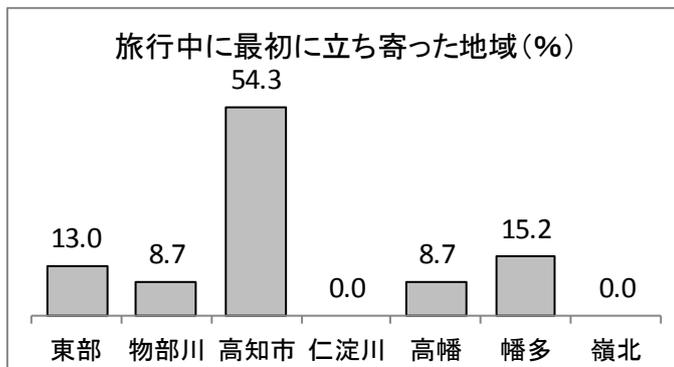
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					12	26.1%
幡多					5	10.9%
東部					5	10.9%
物部川	→	高知市			3	6.5%
高知市	→	物部川			3	6.5%
高幡					2	4.3%
幡多	→	高知市			2	4.3%
高知市	→	幡多			2	4.3%
物部川					1	2.2%
(※対象多数のため略)						

#### ・上位を占めた周遊ルート

団体旅行 46 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した団体旅行が 12 組 (26.1%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみと「東部」のみがそれぞれ 5 組 (10.9%)、「物部川」から「高知市」が 3 組 (6.5%)、「高知市」から「物部川」が 3 組 (6.5%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

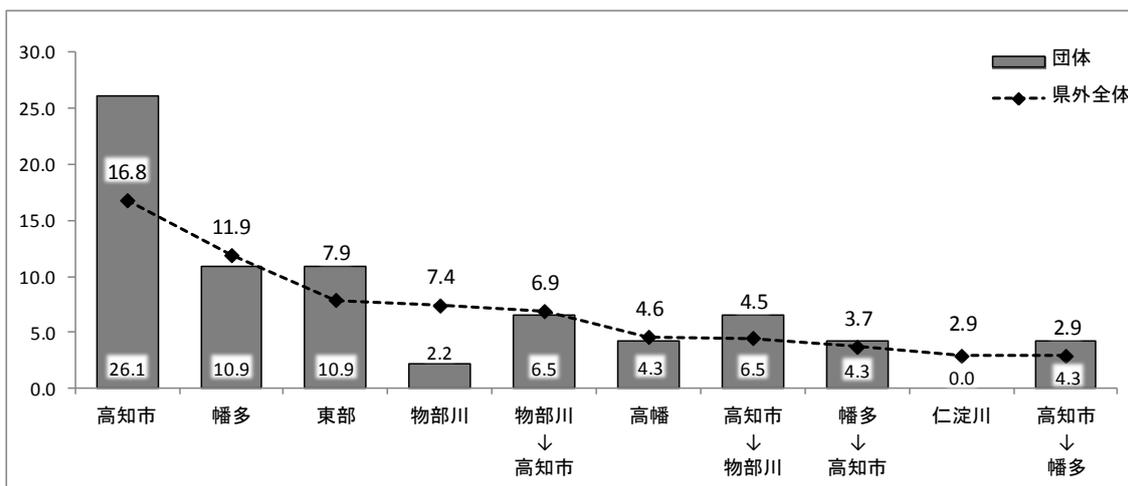
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 54.3%、次いで「幡多」が 15.2%、「東部」が 13.0%、「物部川」と「高幡」がそれぞれ 8.7%となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ、「東部」のみのルートが目立って多くなっている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」、「高知市」と「幡多」を含むルートが多くなっている (図 3-2-3-2)。

(図 3-2-3-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2-4. 一人

一人旅の旅行者 432 人の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-4-1) 旅行形態別周遊ルート (件) [ 周遊エリア3まで ]

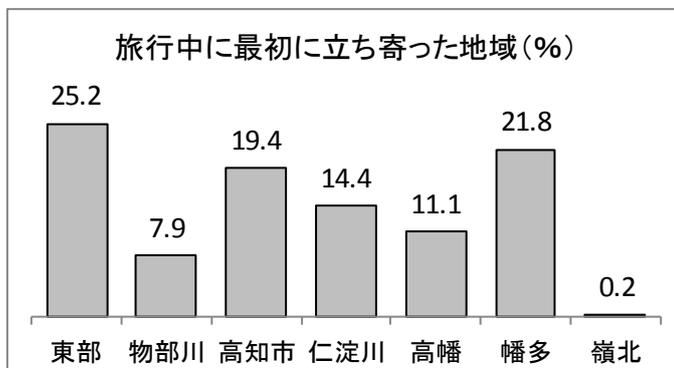
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	人数	割合
東部					82	19.0%
幡多					64	14.8%
仁淀川					55	12.7%
高知市					44	10.2%
高幡					29	6.7%
物部川					15	3.5%
幡多	→	高知市			14	3.2%
高知市	→	東部			11	2.5%
高幡	→	幡多			10	2.3%
物部川	→	高知市			9	2.1%

#### ・上位を占めた周遊ルート

一人旅の旅行者 432 人の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 82 人 (19.0%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 64 人 (14.8%)、「仁淀川」のみが 55 組 (12.7%)、「高知市」のみが 44 人 (10.2%)、「高幡」のみが 29 人 (6.7%)、「物部川」のみが 15 人 (3.5%) と続いている。このように単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 6 位までを占めている。

・周遊ルート of 玄関口

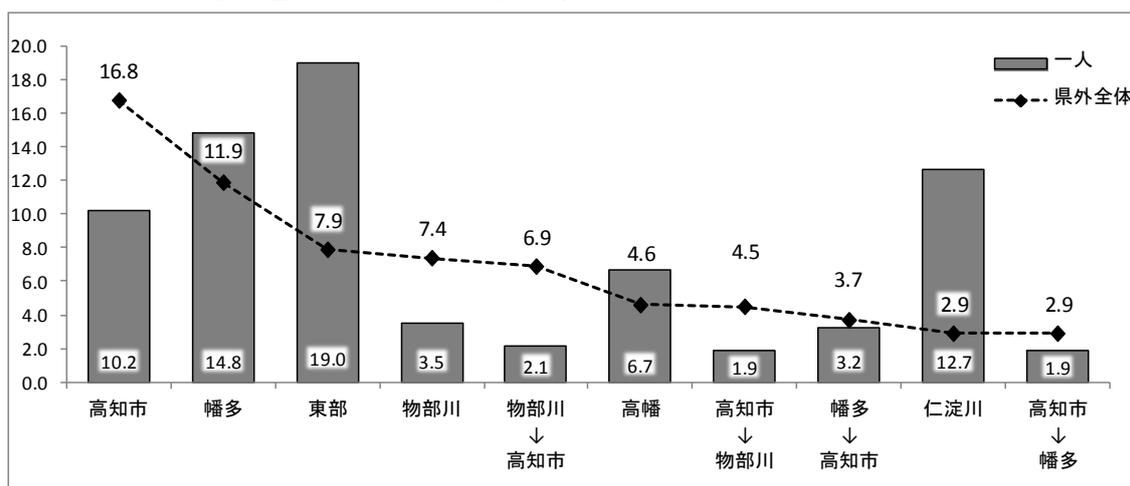
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 25.2%、次いで「幡多」が 21.8%、「高知」が 19.4%、「仁淀川」が 14.4%、「高幡」が 11.1%、「物部川」が 7.9%、「嶺北」が 0.2%となっている。



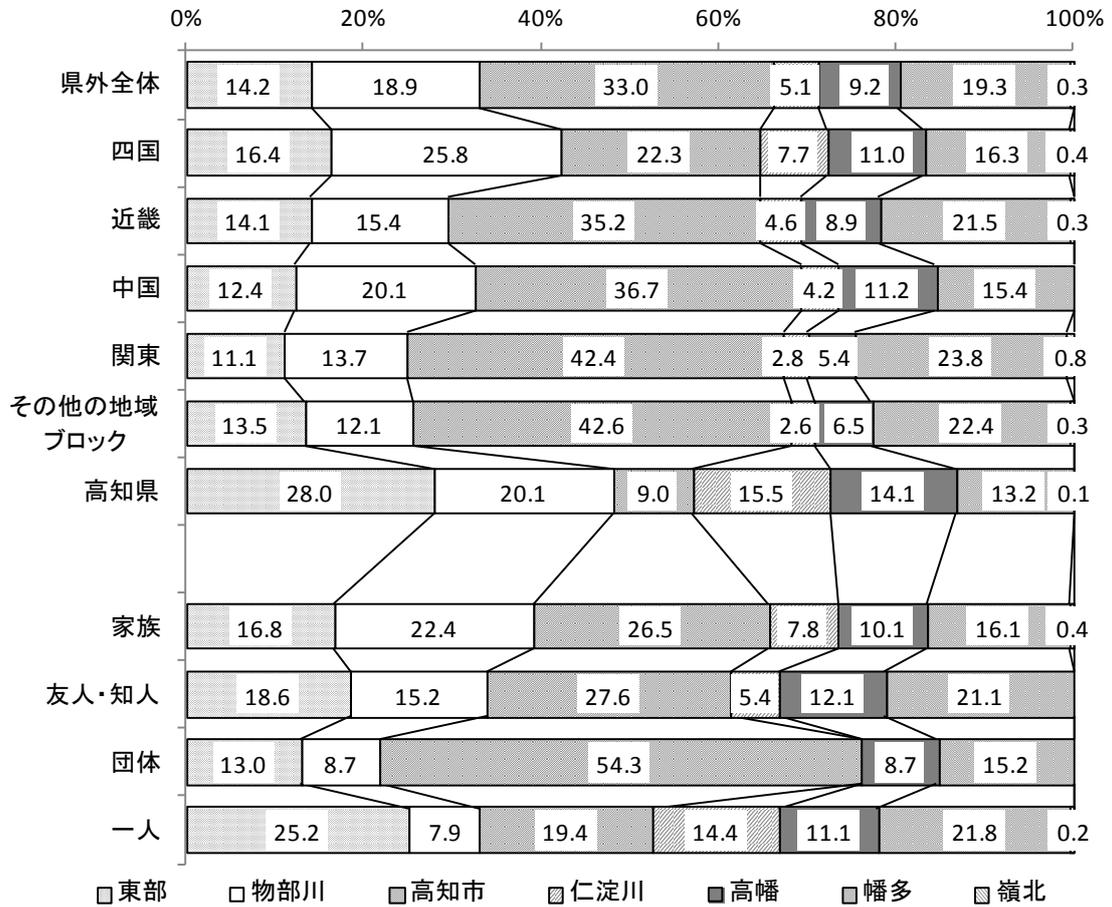
・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「東部」のみ、「幡多」のみ、「仁淀川」のみの割合が目立って多くなっている。一方、「高知市」のみの割合は県外全体を大きく下回っており、単一エリアだけの観光で傾向が分かれている。また、一人旅でエリアを越える周遊ルートの割合も少なくなっている (図 3-2-4-2)。

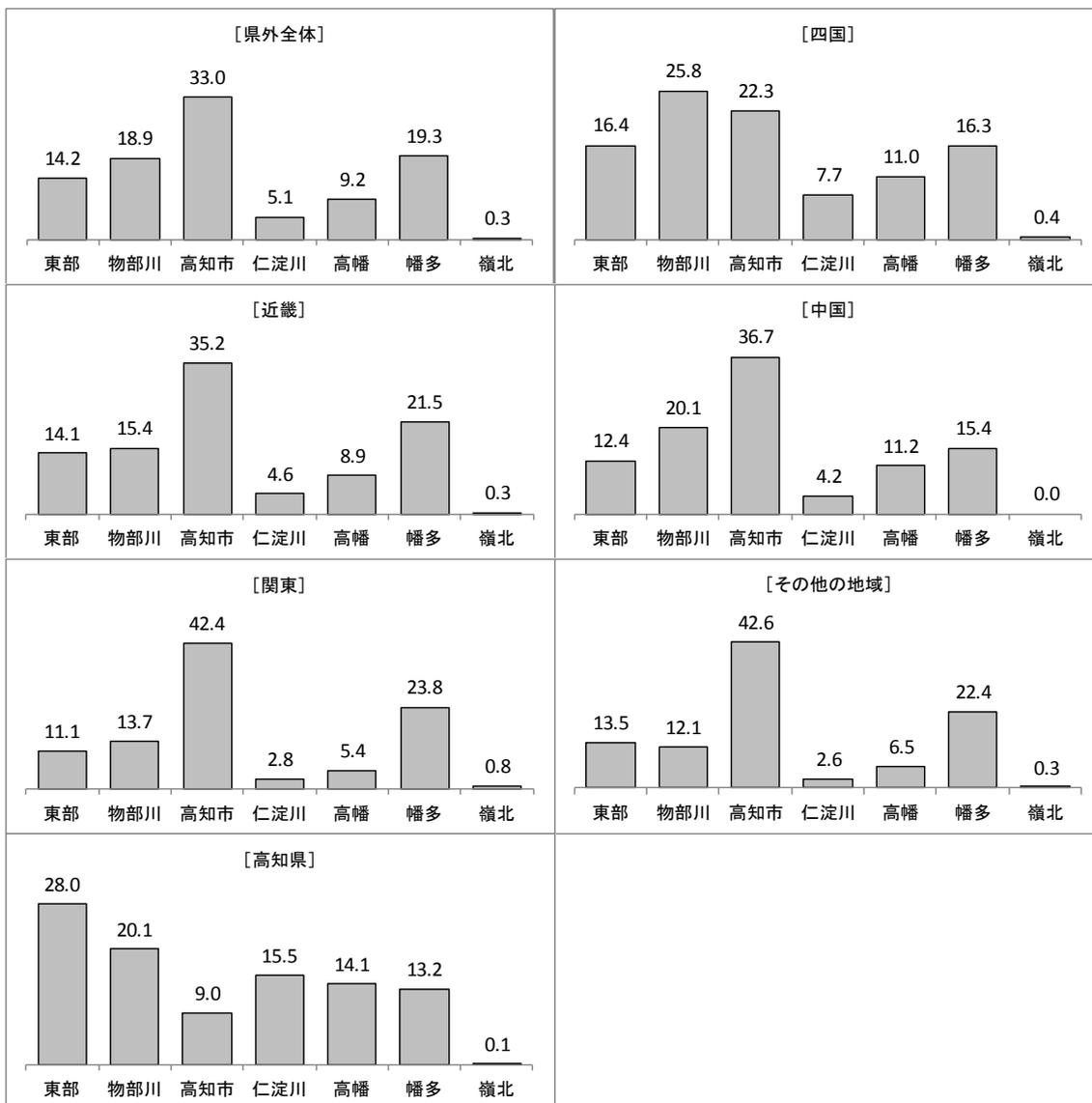
(図 3-2-4-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



(参考 1)発地ブロック別・旅行形態別旅行中に最初に立寄った地域(%)



(参考 2)発地ブロック別旅行中に最初に立寄った地域(%)



(参考 3)旅行形態別旅行中に最初に立寄った地域(%)

